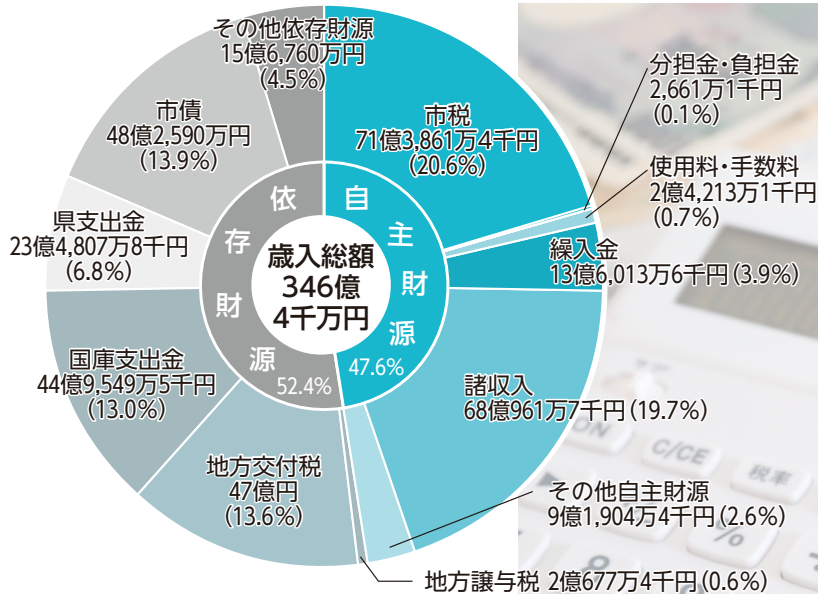


一般会計の歳入



- ▶ 地方交付税 … 財政力に応じて国から交付されるお金
- ▶ 国庫支出金 … 国が用途を特定して交付するお金
- ▶ 県支出金 … 県が用途を特定して交付するお金
- ▶ 市債 … 建設事業などに充てるための借入金

令和7年度 鳴門市の

予算

2月18日から3月18日までの29日間の会期で開かれた市議会第1回定例会で、令和7年度当初予算が決まりました。今回は予算の概要のほか、重点的に取り組む事業を紹介します。

「あらたななと」を創る

本市の財政状況は、歳入の根幹をなす市税が人口減少等の影響により減少傾向となる中、歳出は社会保障関係費などの扶助費の増、物価高騰などによる物件費の増、さらに公債費は高い水準で推移するなど依然として楽観視できる状態ではありません。

こうした中、近年は全国各地で激甚災害が頻発し、また「南海トラフ地震臨時情報」が令和6年度に初めて発表されたことを受け、防災力強化を喫緊の課題と位置付け、これまで以上に重点的に取り組みます。さらに、新たな総合戦略に基づき、本市の将来都市像を実現するための施策を推進します。

令和7年度当初予算では、防災・減災対策事業として避難所体制の充実を重点的に実施するとともに、文化会館耐震改修事業を推進します。さらに、「なとまるごと子育て応援パッケージ」や「なとっ子」学力向上パッケージなどの主要施策のさらなる充実を行うなど、「あらたななと」を創る。

※予算の詳細は市公式ウェブサイトに(下記二次元コード)に掲載しています。



ると」の実現に向けた予算編成を行いました。予算総額は過去最大の規模となる346億4千万円で、前年度と比較して22.8%の増となっています。

歳入

歳入の主なものとして、市税は定額減税の影響を受けた前年度と比較し、市民税の増などにより71億3861万4千円(前年度比7.6%増)で全体の20.6%を占め、諸収入はポータルレース競走事業の収益事業収入が大幅増となり、68億961万7千円(前年度比593.1%増)で市税に次ぐ19.7%を占めています。市債は、文化会館耐震改修事業に伴う文化会館整備事業債の増などにより、48億2590万円(前年度比48.6%増)を計上しました。

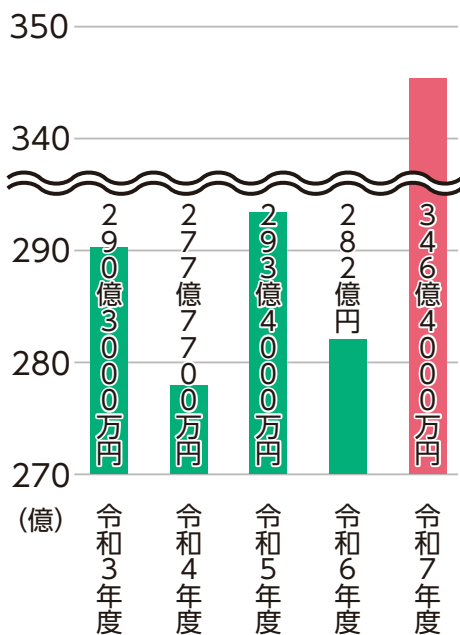
なお、地方消費税の引き上げに係る地方消費税交付金の増分(社会保障財源化分)は、扶助費などに充当しています。

歳出

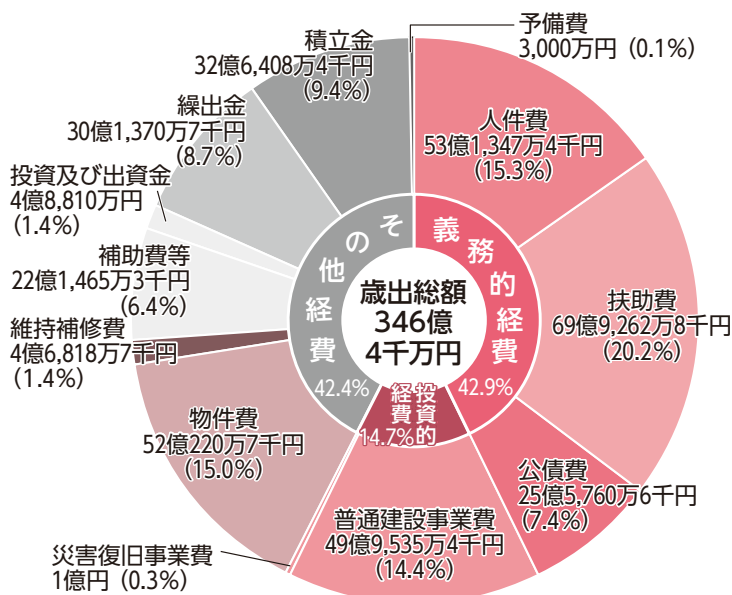
人件費と扶助費、公債費を合わせた義務的経費は、人件費および扶助費の増により、148億6370万8千円(前年度比4.3%増)となっています。補助費等は、ふるさと納税寄附金推進事業費の増などによ

過去5年

一般会計 当初予算の推移



一般会計の歳出



- ▶ 義務的経費 … 人件費や借入金返済など、必ず支払わなければならないお金
- ▶ 扶助費 … 生活保護費や子ども・高齢者・障がい者の支援に必要なお金
- ▶ 公債費 … 市債の返済に充てる元金と利子
- ▶ 投資的経費 … 道路整備や施設建設、災害復旧などに使うお金
- ▶ 物件費 … 消耗品・光熱水費などの消費的性質を持つお金

令和7年度 一般会計当初予算額

346億4,000万円 (前年度比 64億4,000万円増)

特別会計予算(歳入・歳出)

特別会計項目	当初予算金額	前年比
国民健康保険事業	66億5,880万円	6.5%減
後期高齢者医療	11億6,509万円	4.4%増
介護保険事業	70億4,120万円	2.1%増
光熱水費等支出	9億1,455万円	5.3%増
給与費等管理	52億4,763万円	1.7%増
公債費管理	25億5,510万円	0.4%減

企業会計予算(歳出のみ)

企業会計項目	当初予算金額	前年比
水道事業	44億1,478万円	28.9%減
モーターボート競走事業	769億 856万円	23.9%増
下水道事業	16億 518万円	0.2%減

り、22億1,465万3千円(前年度比3.5%増)となっております。投資的経費は、文化会館耐震改修事業費の大幅増などにより、50億9,535万4千円(前年度比85.8%増)と大きく増加しています。積立金は、将来に備えポートレース鳴門まちづくり基金や減債基金への積立金を増加したことにより、32億6,408万4千円(前年度比111.5%増)となっております。

特別会計は、一般会計と別に設けられ、独立した経営管理が行われる会計で、予算を使用する用途が限定されています。企業会計は、地方公共団体が運営する地方公営企業会計です。本市には、水道、ポートレース、下水道の3つの事業があります。※予算額などは左表参照(千円以下切り捨て)。

特別会計・企業会計予算

“あらたななると”を創り出す

令和7年度当初予算 重点事業を紹介

南海トラフ巨大地震に備える 防災力強化事業 …2億1,657万4千円

近年の災害は、激甚化、頻発化、長期化しており、南海トラフ地震の発生可能性も高まっている状況です。本市においても多数の避難者の発生が想定されており、避難所QOL(クオリティー オブ ライフ=生活の質)の向上が重要です。そこで、南海トラフ巨大地震に備えた各種事業を実施します。



中学校屋内運動場空調設備整備事業 …1億8,970万円

災害時に、避難所として多くの避難者を受け入れることになる中学校の屋内運動場に、災害による停電時にも稼働するガスヒートポンプ式エアコンの設置を進めます。



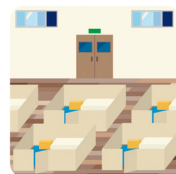
▶対象 大麻中学校(設置工事)
瀬戸中学校(設置工事設計)



段ボールベッド・パーテーション 配備事業…1,237万5千円



災害時には多くの避難者を収容すると想定される大規模避難所に、段ボールベッドとテント型パーテーションを配備し、避難時の衛生環境を確保するとともに、避難所QOLの向上を図ります。



▶対象 第一中学校、大麻中学校

マンホールトイレ設置事業 …592万9千円



災害発生時には停電や断水により避難所や自宅のトイレが使用できないなどの問題が想定されます。そこで、停電・断水時にも迅速に組み立てることができ、トイレを確保することができるマンホールトイレの設置を段階的に行い、水洗トイレに近い環境を確保します。



災害時協力井戸登録推進事業 …360万円



個人や民間が所有する井戸について、「鳴門市災害時協力井戸」の登録を推進し、断水時における飲用以外の生活用水を確保します。登録された井戸に対しては、周知・啓発のための登録表示板の設置や水質検査を実施し、公益性・地区の登録状況を鑑み、手押しポンプの設置などの整備を行います。



スターリンク整備事業 …123万円



大規模災害発生時に通信途絶による災害対応に遅れなどが生じないよう衛星を活用し、エリア・環境に左右されず高速インターネットを利用できるスターリンクを整備することで、円滑な災害対応体制を構築します。



防災訓練等の充実 …374万円

南海トラフ地震を見据え、「被災地から学ぶ」「より実践的に」をテーマに、市職員の災害対応力と地域全体の防災力向上のため、計画的に訓練等の充実を図ります。



今年も新たな事業を追加！

なると まるごと 子育て応援パッケージ事業

…3億8,306万2千円 (歳入減および周知広報等事務費を含む)

前年度当初予算より
約 **3,300** 万円
増額

～4年間の集大成！子どもたちの夢をまるごと応援 ここから始まる新たな未来へ～

出会いから結婚、新生活、妊娠、出産、子育て、住宅取得の各ライフステージの子育て世代を強力に支援することで、子育て世帯の定住促進につなげます！

- ☑ 男女のつながりや出会いの場を恒常的に提供
- ☑ 子どもを望む夫婦の経済的・精神的負担を軽減
- ☑ 保育士・保育教諭の奨学金の返還費用を助成

詳しくは市公式ウェブサイトをチェック！

- どんな事業があるのか知りたい！
- 私は対象になるの？
- 金銭面以外の支援もあるの？



なると まるごと 子育て応援パッケージ

検索



一期一縁(いちごいちえん)プロジェクト

…200万円



令和6年度に実施した結婚支援アイデアコンテストで受賞したアイデアをベースに、一時的な婚活イベントではない、男女のつながりや出会いの場を恒常的に提供することを目的に、「一期一縁(いちごいちえん)プロジェクト」を実施します。「一期一縁」とは、「出会いを一つの縁にしていこう」という意味であり、受賞者が市内事業者などと連携し、コミュニティづくりに関する事業を実施します。これにより、「鳴門のまちなかに若い男女が集まる」ことで好循環を生み出し、恒常的な出会いの場の提供や「まち」の活性化を目指します。



不妊治療費助成事業

…1,015万円

拡充

- 生殖補助医療助成の上限を10万円→30万円に増額！
- 県内初！先進医療にかかる費用も助成対象に！

不妊治療の経済的な負担を軽減するため、保険適用の不妊治療費用のうち生殖補助医療について、治療開始日が令和7年4月1日以降のものは、1回当たり30万円を上限として助成します。さらに、保険適用の治療と併用して自費で実施される「先進医療」に係る費用も助成対象とします。また、一般不妊治療についても、初回治療開始日から1年以内の治療費用全額を助成します。



保育士人材確保推進事業(奨学金返還助成事業)

…960万円



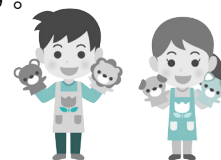
助成額

月額上限1万円
(返還額以内の額)

市内私立保育所、認定こども園に勤務する保育士・保育教諭の奨学金の返還費用を助成します。これにより、離職の抑制や潜在保育士の掘り起こしにつなげ、安定した人材確保を推進します。

※鳴門市が認める奨学金に限る。教育ローンは対象外。

- ▶対象 市内の私立保育所、認定こども園に勤務し、奨学金の返還を行っている保育士・保育教諭
- ▶対象期間 4月～令和8年3月

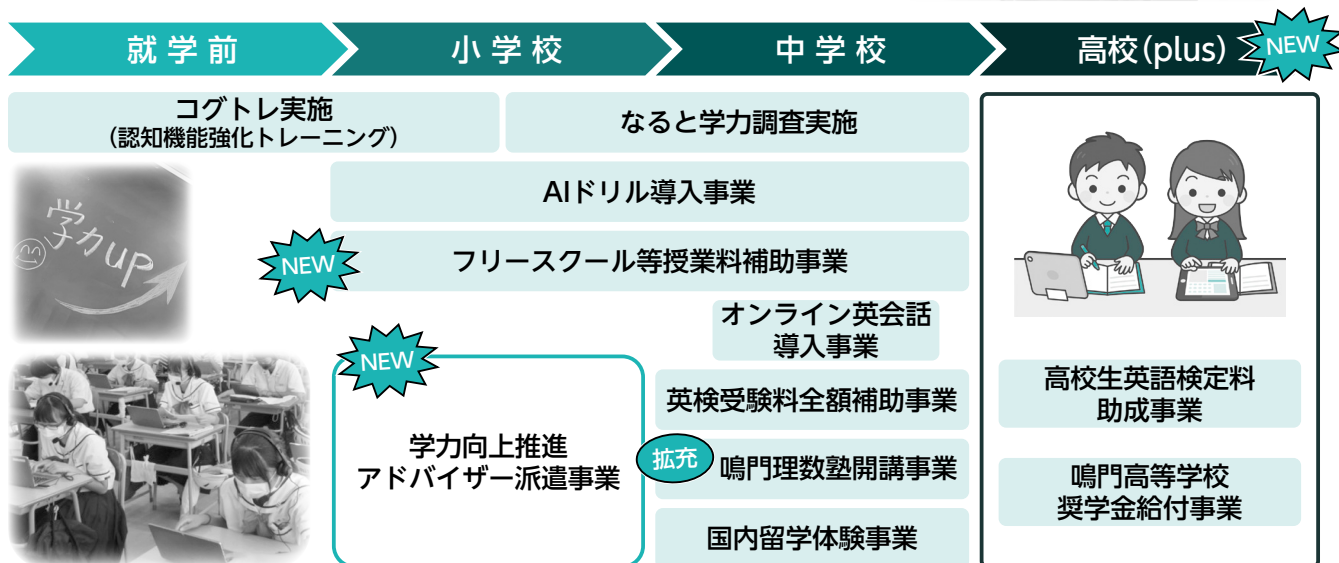


なると うずっ子 学力向上パッケージ/plus事業 …4,573万1千円

前年度当初予算比
約 **1.32** 倍

「なると うずっ子 学力向上パッケージ事業」は、就学前から中学校卒業まで、鳴門市独自の特色ある教育を実施し、子どもたち一人ひとりの無限の可能性を伸ばすことを目的に、令和5年度からスタートしました。

令和7年度からは、「なると うずっ子 学力向上パッケージ/plus事業」として新たに高校生を対象とした新規事業を展開し、鳴門で育ちゆく子どもを支援します。



鳴門高等学校奨学金給付事業 …120万円 (債務負担行為額120万円)



将来、教員になることを目指し、鳴門高校の「教職特別講座 (Educationプログラム)」を受講する学業優秀な市内の生徒に奨学給付金として毎月2万円を給付します。学業優秀で入学後も意欲的に学び続ける生徒の確保に努めるとともに、鳴門高校 (教職特別講座) の魅力化・特色化を図ります。

鳴門理数塾開講事業 …31万8千円



鳴門教育大学の協力により、中学生が定期的 (月1回程度) に理数分野に特化した教育を受けられる機会を設け、理数学習へのモチベーション向上を図ります。また、令和7年度から実用数学技能検定 (数検) の受験料全額補助も行います。

▶対象 市内在住の中学生 (受検級は5級以上)

学力向上推進アドバイザー派遣事業…893万円 NEW

経験豊富な退職教職員を市内小学校にアドバイザーとして配置し、複雑化・多忙化する学校現場において、若手教職員を中心に指導・助言を行います。若手教職員の授業力の向上や学級経営の円滑化につなげることで、教育活動の充実や児童の学力向上を図ります。

フリースクール等授業料補助事業…180万円 NEW

不登校または不登校傾向にある児童生徒の多様な学びの場を確保し、社会的自立に向けた支援を進めるため、フリースクール等を利用した際の利用にかかる経費に対し補助を行います。

▶対象 市内小中学校に在籍し、不登校状態にある児童生徒の保護者

高校生英語検定料助成事業…114万8千円 NEW

英検準2級以上を受験する際の受験料を全額補助し、地元の高校に通い英語学習に励む生徒を支援します。英語力を可視化し、一生モノの資格取得を目指します。

▶対象 本市に住民票があり、市内の高等学校に通学している生徒

※10ページに関連記事。

▼その他の重点事業を紹介

スポーツ施設整備事業…4,300万円

①新スポーツ施設基本計画策定業務…3,300万円 ②衛生センターグラウンド利用環境改善事業…1,000万円

- ①体育館と屋内温水プールを兼ね備えた新しいスポーツ施設の建設に向け、「鳴門市新スポーツ施設基本構想」を踏まえ、より具体的な内容を示した基本計画の策定に取り組めます。
- ②フェーズフリーの概念を取り入れ、平時は施設利用者が活用し、災害発生時は避難者が雨をしのぐことができる屋根付き観覧席とトイレ・防災倉庫が一体となった施設の設計に取り組み、施設の利便性向上と地域防災力の強化を図ります。

**①文化会館耐震改修事業…24億5,723万円****②文化会館再開準備事業…2,549万2千円**

資材費や人件費などが高騰する中、財源確保のためふるさと納税ガバメントクラウドファンディングを実施します

- ①令和3年4月から休館している文化会館の耐震改修およびホールの座席やトイレ、舞台設備などの更新を行います。今後は、令和7年8月に実施設計が完了し、令和7～8年度での改修工事を経て、令和9年2月にしゅん工する予定です。しゅん工後は、開館準備などを約3カ月間行い、令和9年6月のグランドオープンを目指します。
- ②令和9年6月の施設再開に向け、指定管理候補者を公募・選定し、民間事業者のノウハウを生かした運営者目線による効果的な施設整備、円滑な施設再開を目指します。

**100万人のクラシックライブ
開催事業…140万円**

市内の身近な場所で、気軽にクラシックの生演奏に触れることができる機会を創出し、「音楽を通じて人と人がつながる」「日常に音楽があふれる」地域となることを目指します。また、人と人とのつながりが生まれることで、孤独・孤立対策としての効果も期待されます。10回程度開催予定。

**再生可能エネルギー設備等普及促進事業
補助金…1,500万円**

地球温暖化対策の推進や脱炭素社会の形成を図るとともに、災害に強いフェーズフリーなまちづくりを実現するため、「住宅用太陽光発電システム」「家庭用蓄電池システム」「電気自動車等充給電設備(V2H)」を設置する方に補助金を交付します。

**高齢者向けセーフティドライバース事業
…50万円**

市内の65歳以上の高齢者を対象に、体力測定や認知機能・運転技能の検査を行い、現在の運転技術などを再確認するきっかけづくりを行うとともに、運転技能にかかる体力や技能向上につながる体操などを行う講座を開催します。

**介護予防DX推進事業
…1,870万円**

医療保険・介護保険・介護予防事業などのデータを活用し、介護予防事業の効果検証や本市高齢者の特性・課題の分析を行い、分析結果やエビデンスに基づく介護予防事業等を展開するとともに、認知症予防アプリの開発や趣味教室の開催など、多様な介護予防事業の実施で健康寿命の延伸を図ります。

**UIJインターンシップ
事業～おとなのおしごと体験～…91万円**

市内事業所の人手不足解消と本市へのUIJターンを促進するため、「おてつたび」のプラットフォームにより全国から参加者を募集し、UIJインターンシップを実施します。幅広い業種で就業体験を行うとともに観光ツアーも開催します。

**観光スタートアップ
実証実験推進
補助金…200万円**

地域資源を生かした観光のまちづくりに向け、革新的なアイデアや技術・サービスを持つスタートアップ企業と市内観光関連事業者等が協業して実施する課題解決に向けた事業を支援することで、観光振興を図ります。

**農林水産業振興基金の創設
(3月補正予算)
…6,033万円**

令和4年3月に策定した「鳴門市農業振興計画」と「鳴門市水産振興計画」の各種取り組みを継続して実施するための安定した財源確保を目的として、新たに「鳴門市農林水産業振興基金」を創設します。



地域共生センター(仮称)整備事業 …472万7千円



現在、改修工事に着手している旧分庁舎について、障がいの有無や年齢に関係なく、誰もが利用しやすいインクルーシブ[※]を体現した地域共生センター(仮称)としての令和7年度秋の開館を目指し、円滑に運営するための準備を進めます。

※インクルーシブ…「包み込むような」という意味。

インナープロモーション推進事業 …800万円



市民のシビックプライドの醸成や市の魅力への共感を育み、自ら情報発信源となる市民を増やすことなどを目的に、インナープロモーションに取り組みます。令和7年度は、鳴門の未来を担う中高生と一緒に、ショートムービーを中心とした期間限定の「映画館」を作ります。



公民連携エリアリノベーション 応援事業…90万円



撫養川親水公園周辺エリアにおけるマルシェの開催などさまざまな公民連携の取り組みを推進するため、新たに備品の貸し出しや補助金の交付など積極的なサポートを行い、にぎわい創出とエリア価値の創造につなげ、居心地が良く、歩きたくなる「ウォーカブル」な空間の実現を目指します。

未来の地場産品創出支援プロジェクト ふるさと納税3.0…500万円



ふるさと納税型クラウドファンディングを活用し、企業や個人事業主による新たな地場産品開発などを支援することで、寄附額の拡充と地域活性化を図ります。また、これにより創出した地場産品は返礼品として寄附者にお届けします。



リノベーションまちづくり 推進事業…500万円



遊休地や公共空間、空き店舗などの「まち」の既存資源を活用し、民間主導で新たなコンテンツ造成やコミュニティの活性化などを図る「リノベーションまちづくり」に取り組みます。令和7年度は、機運醸成や理解促進を図る講演会の実施、民間人材の育成・発掘などを行います。

鳴門市花街道・地域づくりネットワーク 活動補助事業…36万6千円

4月から開催される大阪・関西万博に伴う観光客増加を見据え、「鳴門市花街道・地域づくりネットワーク」による花植え活動を拡充し、色とりどりの花で鳴門を訪れる方をおもてなしします。



「なると家」の家計簿 ～予算を身近に～

令和7年度一般会計当初予算(346億4,000万円)を5千分の1に換算して、家計簿に置き換えてみました。すると、「なると家」の家計の総額は昨年度より129万円アップの693万円になります。

臨時的要因ではあるものの家賃収入(諸収入)が大きく増えたことで、貯金の取り崩し(繰入金)は最小限に抑えることができます。また、不動産の購入(普通建設事業費)が増えるため、借入金(市債)が大きく増加しています。

収入

※()内は前年度の額。

給料[市税、地方譲与税]	147万円(137万円)
親からの仕送り [国・県支出金、地方交付税など]	262万円(231万円)
家業収入[使用料・手数料など]	5万円(5万円)
家賃収入 [財産収入、貸付金収入など]	155万円(36万円)
貯金の取り崩しなど[繰入金]	27万円(90万円)
借入金[市債]	97万円(65万円)
合計	693万円(564万円)

支出を見ると、生活費(物件費、補助費等)や介護・育児・医療費(扶助費)など日常的に必要な経費が増加傾向であるとともに、不動産の購入代(普通建設事業費)が大きく増加しています。貯金(積立金)については、臨時的な家賃収入(諸収入)の一部を将来を見据えた貯蓄としたため大きく増加しています。

支出

※()内は前年度の額。

食費[人件費]	106万円(104万円)
介護・育児・医療費[扶助費]	140万円(130万円)
生活費[物件費、補助費等]	149万円(131万円)
自宅の修理代 [維持補修費、災害復旧費]	12万円(13万円)
不動産の購入代 [普通建設事業費]	100万円(53万円)
子どもへの仕送り [他会計への繰出金など]	70万円(77万円)
借入金の返済[公債費]	51万円(51万円)
貯金[積立金]	65万円(5万円)
合計	693万円(564万円)